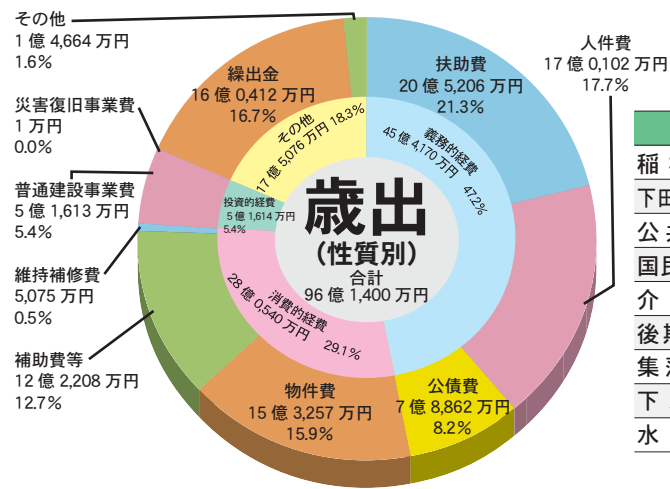
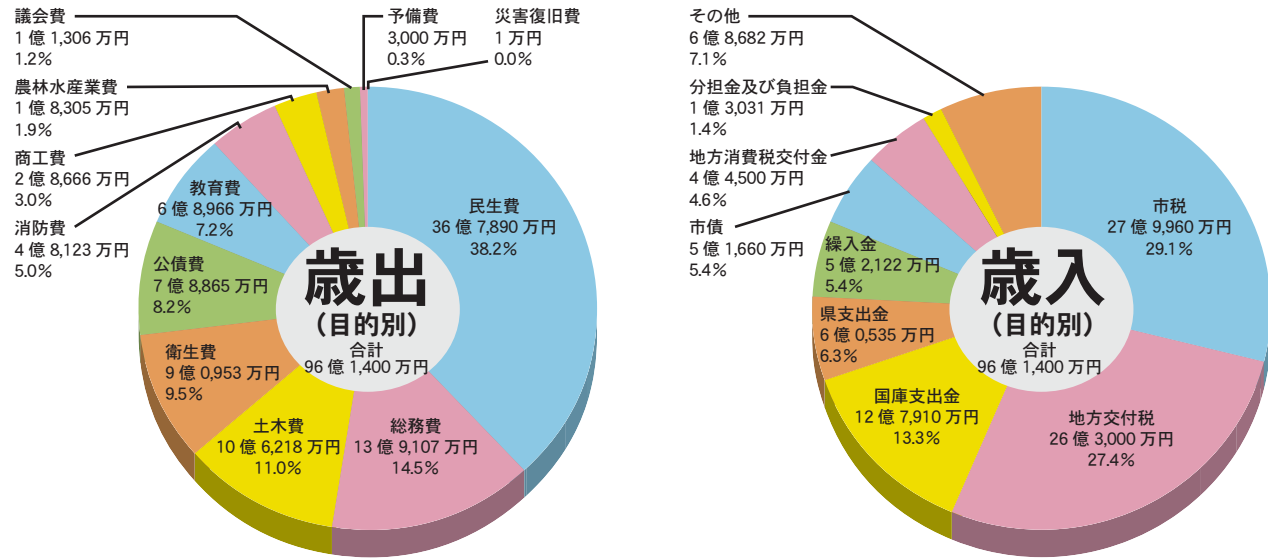


平成29年度 予算概要

一般会計及び9特別会計合わせて、189億6,472万円で、前年度に比べ4億4,190万円、2.4%の増となり、各会計間の重複額を除いた純計額では、176億4,826万1千円で、前年度に比べ4億4,440万7千円、2.6%の増となりました。一般会計は96億1,400万円で、前年度に比べ2億1,600万円、2.3%の増となりました。

一般会計の歳入(性質別)につきましては、自主財源が40億1,824万7千円で歳入全体の41.8%を占め、前年度に比べ1億5,885万9千円の増となり、依存財源は55億9,575万3千円で歳入全体の58.2%を占め、前年度に比べ5,714万1千円の増となりました。

一般会計予算 96億1,400万円の内訳



会計名	予算額	対前年度増減額	増減率
稲梓財産区特別会計	190万円	40万円増	26.7%増
下田駅前広場整備事業特別会計	730万円	0	0%
公共用地取得特別会計	302万円	0	0%
国民健康保険事業特別会計	38億5,000万円	2,800万円増	0.7%増
介護保険特別会計	27億8,800万円	1億9,300万円増	7.7%増
後期高齢者医療特別会計	3億4,100万円	1,600万円増	4.9%増
集落排水事業特別会計	4,150万円	1,460万円増	54.3%増
下水道事業特別会計	11億3,600万円	4,500万円減	3.8%減
水道事業会計	12億6,200万円	1,890万円増	1.5%増

～歳入の主な増減の要因～

- ① 県支出金は、観光施設整備事業、静岡県知事選挙等の増により、6億0,535万3千円と見込み、前年度に比べ6,498万2千円、12.0%の増と見込みました。
- ② 繰入金は、学校施設整備基金、ふるさと応援基金からの繰入額等の増により、5億2,122万3千円と見込み、前年度に比べ6,942万2千円、15.4%の増。
- ③ 市債は、白浜地区防災センター建設事業、第5分団第1部詰所建設事業等の終了により、5億1,660万円と見込み、前年度に比べ(△)9,700万円、(△)15.8%の減。

～歳出の主な増減の要因(性質別)～

- ① 補助費等は、ふるさと応援寄附返礼品、地域おこし企業人交流プログラム受入事業負担金等の増により、前年度に比べ、1億0,013万3千円、8.9%の増。
- ② 物件費は、基幹系システム更新関係、ふるさと応援寄附システム使用料等の増により、前年度に比べ6,428万5千円、4.4%の増。
- ③ 普通建設事業は、宮渡戸橋架替工事やゆのもと橋耐震補強工事、春日山遊歩道整備工事等の増により、前年度に比べ、7,290万4千円、16.4%の増。

また、伊豆観光列車「ザ・ロイヤルエクスプレス」の運行に伴うおもてなしの気運醸成を行うとともに、世界一の海づくり事業の一環である下田の魅力子どもに伝える講座の実施、地引網を活用した体験メニューの検討を進めてまいります。

近年頻発し、被害が甚大化する様々な災害から、市民の生命と財産を守るためハード・ソフト両面からの備えある盤石な防災体制の構築に努め、危機管理能力の向上を図ってまいります。

② 産業振興
新たな農業の展開を目指し、「地域おこし協力隊」を活用したオリーブのまちづくり事業、身近な里山整備による美しい里山づくり事業を推進します。また、定置網を活用した事業の検討、住宅リフォーム振興助成金を継続します。

① ハード事業
春日山遊歩道整備等による避難路確保をはじめ、避難誘導標識や看板の設置、防災用倉庫の整備、テントや食料の備蓄等発災時の対応体制の充実を図ります。

③ 市街地活性化策
来訪者が周遊したくなるまちづくりを目指し、歴史まちづくり法等による道路の高質化や連続性の強化、ポケットパークの整備の準備など、有効な補助事業を活用し、官民協働でのまちづくりを推進してまいります。

② ソフト事業
防災訓練や防災教育の充実、木造住宅耐震補強助成の拡充とともに、伊豆縦貫自動車道の整備促進、外防波堤整備等インフラ整備促進の要望活動なども推進してまいります。

三本の柱以外の重視すべき施策

広域連携

効果的に行政サービスを提供するため、限られた人員や財源といった行政資源を効率的に活用する施策であり、積極的に連携を推進してまいります。

① 継続されるもの

賀茂広域消費生活センター及び賀茂地方税債権整理回収協議会が活動実績を上げており、成年後見制度や在宅医療・介護連携推進の地域包括ケアシステムの一部事業については、連携及び運用が開始されております。

② 本年度開始されるもの

賀茂地域教育振興センター、地籍調査事業であります。

③ 伊豆半島7市6町の広域連携

観光事業に特化した日本版DMOとなる一般社団法人「美しい伊豆創造センター」が設立され、本市も広域の一員として積極的に活動してまいります。

④ 県の施策以外の広域連携

南伊豆町・松崎町との1市2町による、広域ごみ処理施設の整備が検討され、基本構想策定のための任意の協議会設立を進めてまいります。

その他の重要事業

下田の大きな魅力である自然環境や文化財の保護・保全事業に取り組みとともに、高齢者・福祉対策事業といたしまして、健康長寿のためのスポーツ振興、障害福祉サービスの充実などの施策、ふるさと納税の返礼品拡充等にも積極的に取り組んでまいります。さらに、公共施設等総合管理計画に基づく個別施設計画の策定及び組織機構改革を継続的に行うなど、行財政改革を推進し、下田の再興を支え



平成29年度を「変革元年」ととらえ全力を傾けます。下田市を再興することは、一朝一夕にできるものではありませんが、常に「市民の心を我が心として」諸課題を着実に解決するよう市役所職員とともに、一丸となって邁進する所存でありますので、市民の皆さまの市政に対する温かいご理解とご協力をお願いいたします。

以上、下田市議会3月定例会において市長が表明した平成29年度の市政運営の基本となる考え方、「施政方針」と「予算」概要について紹介させていただきます。(左)では、平成29年度の予算概要を円グラフで紹介いたします。